区分:総合科学

授業科目名 暮らしと地球環境学 学期 曜日 英語名 Human Life and Environmental Problems 必修 選択 選択 後期 水曜日 教官名 後藤恵之輔 単位数 2単位 必修 選択 選択 後期 水曜日 大学、協力 後藤恵之輔 単位数 2単位 必修 選択 選択 後期 水曜日 大学 日 後藤恵之輔 単位数 2単位 必修 選択 選択 2回 後期 水曜日 大学 日 日 日 2単位 必修 選択 選択 2回 2回	校時
担当 教官名 単位数 2単位 必修 選択 選択 使期 水曜日 授業のねらい・内容・方法 この地球には、人間のみならず多くの生物、植物他が生息しており、互いに影響のあって生存している。 気が今、危機に瀕している。温暖化、オソン層の破壊、砂漠化等の地球環境問題によってである。しかし、 このような地球規模のものだけでなく、ごみ問題等の地域の環境問題によっても次第に汚染されてきていい 業では、これら環境問題を地域かつ地球規模で学び、暮らしの中でどう対処していけばいいのかを考えた テキスト、教材等 デキスト、、教材等 デキスト、、教材等 デキスト:「生態系読本 - 暮らしと緑の環境学」(社)地盤工学会 このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角的に授業を進めていく。 対象学生 成績評価の方法 女学部 レポート 授業計画 下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <	
教 官 名 復藤志之輔 単位数 $2 単位$ 選択 選択 」 授業の ね ら い・内 容 ・方 法 この地球には、人間のみならず多くの生物、植物他が生息しており、互いに影響しあって生存している。 温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化等の地球環境問題によってである。しかし、 このような地球規模のものだけでなく、ごみ問題等の地域の環境問題によっても次第に汚染されてきてい 業では、これら環境問題を地域かつ地球規模で学び、暮らしの中でどう対処していけばいいのかを考えた でも、気力能に汚染されてきてい 業では、これら環境問題を地域かつ地球規模で学び、暮らしの中でどう対処していけばいいのかを考えた このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角的に授業を進めていく。 対象学生 元 績 評 価 の 方 法 教官研究室 全 学 部 レポート 授業 計 画 下記の A 群と B 群の項目を適宜組み合わせて、計 14 回の授業を行う。 < <	
この地球には、人間のみならず多くの生物、植物他が生息しており、互いに影響しあって生存している。 球が今、危機に瀕している。温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化等の地球環境問題によってである。しかし、 このような地球規模のものだけでなく、ごみ問題等の地域の環境問題によっても次第に汚染されてきてい 業では、これら環境問題を地域かつ地球規模で学び、暮らしの中でどう対処していけばいいのかを考えた テキスト、教材等 テキスト、、教材等 テキスト、「生態系読本 - 暮らしと緑の環境学」(社)地盤工学会 このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角的に授業を進めていく。 対象学生 成績評価の方法教官研究室 全学部 レポート 授業計画 下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 < A群> A.1 地球温暖化 A.2 酸性雨 A.3 熱帯雨林の減少 A.4 砂漠化 A.5 オゾン層の破壊 A.6 野生生物種の減少 A.7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A.8 人口問題、都市問題 A.9 ごみ問題とリサイクル A.10 自然環境の保全・復元・創造 <b群></b群>	4校問
球が今、危機に瀕している。温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化等の地球環境問題によってである。しかし、このような地球規模のものだけでなく、ごみ問題等の地域の環境問題によっても次第に汚染されてきてい、 業では、これら環境問題を地域かつ地球規模で学び、暮らしの中でどう対処していけばいいのかを考えた テキスト、教材等 テキスト、、教材等 テキスト:「生態系読本~暮らしと緑の環境学」(社)地盤工学会 このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角的に授業を進めていく。 対象学生 成績評価の方法 教官研究室 全学部 レポート 授業計画 下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <a群> A1 地球温暖化 A2 酸性雨 A3 熱帯雨林の減少 A4 砂漠化 A5 オゾン層の破壊 A6 野生生物種の減少 A7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A8 人口問題、都市問題 A9 ごみ問題とリサイクル A10 自然環境の保全・復元・創造 <b群></b群></a群>	
このような地球規模のものだけでなく、ごみ問題等の地域の環境問題によっても次第に汚染されてきてい 業では、これら環境問題を地域かつ地球規模で学び、暮らしの中でどう対処していけばいいのかを考えた テキスト:「生態系読本~暮らしと緑の環境学」(社)地盤工学会 このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角的に授業を進めていく。 対象学生 成績評価の方法 教官研究室 全学部 レポート 授業計画 下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <a群> A-1 地球温暖化 A-2 酸性雨 A-3 熱帯雨林の減少 A-4 砂漠化 A-5 オゾン層の破壊 A-6 野生生物種の減少 A-7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A-8 人口問題、都市問題 A-9 ごみ問題とリサイクル A-10 自然環境の保全・復元・創造 <b群></b群></a群>	
テキスト、教材等 デキスト:「生態系読本~暮らしと緑の環境学」(社)地盤工学会 このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角めに授業を進めていく。 対象学生 成績評価の方法 文象学生 成績評価の方法 全学部 レポート 授業計画 T記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 << A群> A1 地球温暖化 A2 酸性雨 A3 熱帯雨林の減少 A4 砂漠化 A5 オゾン層の破壊 A6 野生生物種の減少 A7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A8 人口問題、都市問題 A9 ごみ問題とりサイクル A10 自然環境の保全・復元・創造 <b群></b群>	
テキスト:「生態系読本~暮らしと緑の環境学」(社)地盤工学会 このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角的に授業を進めていく。 対象学生 成績評価の方法 文学部 レポート 授業前画 一 授業前 ア記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <a群> A1 地球温暖化 A2 酸性雨 A3 熟帯雨林の減少 A4 砂漠化 A5 オゾン層の破壊 A6 野生生物種の減少 A7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A8 人口問題、都市問題 A9 ごみ問題とリサイクル A10 自然環境の保全・復元・創造 <b群></b群></a群>	
このテキストとともに、配布資料、スライド、OHP、ビデオを使って、多角的に授業を進めていく。 対象学生 成績評価の方法 教官研究室 全学部 レポート 授業前回 授業前回 日 授業前回 日 日 授業前回 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
対象学生 成績評価の方法 教官研究室 全学部 レポート 授業前画 一 授業前 下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <a群> A-1 地球温暖化 A-2 酸性雨 A-3 熱帯雨林の減少 A-4 砂漠化 A-5 オゾン層の破壊 A-6 野生生物種の減少 A-7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A-8 人口問題、都市問題 A-9 ごみ問題とリサイクル A-10 自然環境の保全・復元・創造</a群>	
全学部 レポート 授業計画 下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <	
授業前画 下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <a群> A1 地球温暖化 A2 酸性雨 A3 熱帯雨林の減少 A4 砂漠化 A5 オゾン層の破壊 A6 野生生物種の減少 A7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A8 人口問題、都市問題 A9 ごみ問題とリサイクル A10 自然環境の保全・復元・創造</a群>	
授業前画 下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <a群> A1 地球温暖化 A2 酸性雨 A3 熱帯雨林の減少 A4 砂漠化 A5 オゾン層の破壊 A6 野生生物種の減少 A7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A8 人口問題、都市問題 A9 ごみ問題とリサイクル A10 自然環境の保全・復元・創造</a群>	
下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <a群> A-1 地球温暖化 A-2 酸性雨 A-3 熱帯雨林の減少 A-4 砂漠化 A-5 オゾン層の破壊 A-6 野生生物種の減少 A-7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A-8 人口問題、都市問題 A-9 ごみ問題とリサイクル A-10 自然環境の保全・復元・創造</a群>	
下記のA群とB群の項目を適宜組み合わせて、計14回の授業を行う。 <a群> A-1 地球温暖化 A-2 酸性雨 A-3 熱帯雨林の減少 A-4 砂漠化 A-5 オゾン層の破壊 A-6 野生生物種の減少 A-7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A-8 人口問題、都市問題 A-9 ごみ問題とリサイクル A-10 自然環境の保全・復元・創造</a群>	
<a群> A-1 地球温暖化 A-2 酸性雨 A-3 熱帯雨林の減少 A-4 砂漠化 A-5 オゾン層の破壊 A-6 野生生物種の減少 A-7 海洋汚染、大気汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染 A-8 人口問題、都市問題 A-9 ごみ問題とリサイクル A-10 自然環境の保全・復元・創造 </a群>	
B-2 地盤環境と生態系 B-3 生態系に配慮した手法・工法 B-4 都市環境の保全 B-5 田園環境の保全 B-6 ビオトープとミティゲーション B-7 環境調査と評価	